

Isa

Chapter 34

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

הָאָרֶץ תִּשְׁמַע הַקְּשִׁיבוּ וְלְאֻמִּים לְשִׁמְעַתְּם גּוֹיִם קִרְבוּ 1
地よ 聞け 耳を-傾けよ そして-もろもろの-民よ 聞く-ために 諸国民よ 近づけ
[H0776](#) [H8085](#) [H7181](#) [H3816](#) [H8085](#) [H7126](#)

צִאצֵּאֶיהָ וְכָל-תִּבְלַת וּמְלֵאָהּ
その-産み-出す-ものよ そして-すべての 世界よ そして-その-満ちてる-ものよ
[H6631](#) [H3605](#) [H8398](#) [H4393](#)

もろもろの国よ、近づいて聞け。もろもろの民よ、耳を傾けよ。地とそれに満ちるもの、世界とそれから出るすべてのものよ、聞け。

עַל-וַחֲמָה הַגּוֹיִם כָּל-עַל-לַיהוָה קִנְיָהּ כִּי 2
~に-対して そして-怒りが 国々に すべての ~に-対して 主には-ある 怒りが なぜなら
[H2534](#) [H3605](#) [H3068](#)

לְטַבַּח: נָתַנָּם הַחֲרִימָם צְבָאָם כָּל-
屠殺に 引き-渡した 滅ぼした その-軍勢に すべての
[H2874](#) [H5414](#) [H3605](#)

主はすべての国にむかって怒り、そのすべての軍勢にむかって憤り、彼らをことごとく滅ぼし、彼らをわたして、ほふらされた。

בְּאִשָּׁם יַעֲלֶה וּפְנֵי הַיָּם יִשְׁלָכוּ וַחֲלָלֵיהֶם 3
その-悪臭が 立ち-上る そして-その-死体から 投げ-捨てられる そして-その-殺された-者は
[H0889](#) [H5927](#) [H6297](#) [H7993](#)

מִדָּמָם: הָרִים וְנִמְסוּ
その-血で 山々は そして-溶ける
[H1818](#) [H2022](#) [H4549](#)

彼らは殺されて投げすてられ、その死体の悪臭は立ちのぼり、山々はその血で溶けて流れる。

וְכָל-הַשָּׁמַיִם כְּסָפָר וְנִגְלוּ הַשָּׁמַיִם צְבָא כָּל-וְנִמְסוּ 4
そして-すべての 天は 巻物の-ように そして-巻かれる 天の 軍勢は すべての そして-溶ける
[H3605](#) [H8064](#) [H1556](#) [H8064](#) [H3605](#) [H4743](#)

מִתְאַנָּה: וְכִנְבֹּלָת מִזֵּפֶן עֶלְהָ כִנְבֹּל יִבּוֹל צְבָאָם
いちじくの-木から そして-散る-ように ぶどうの-木から 葉が 散る-ように 散る その-軍勢は
[H8384](#) [H1612](#) [H5929](#)

天の万象は衰え、もろもろの天は巻物のように巻かれ、その万象はぶどうの木から葉の落ちるように、いちじくの木から葉の落ちるように落ちる。

תָּרַד אֶדְוִם עַל-הַהָרַיִ תִּרְבִּי בַשָּׁמַיִם רוּתָהּ כִּי- 5
下る エドムの-上に ~の上に 見よ わたしの-剣が 天で 満たされた なぜなら
[H3381](#) [H0123](#) [H2009](#) [H2719](#) [H8064](#) [H7301](#)

לְמִשְׁפַּט: חֲרָמִי עַם-וְעַל-
裁きの-ために その-滅びの 民の-上に そして~の-上に
[H4941](#)

わたしのつるぎは天において憤りをもって酔った。見よ、これはエドムの上にくだり、わたしが滅びに定めた民の上にくだつて、これをさばく。

וְעֵתוּדִים וְקָרִים מִדָּם מִחֶלֶב הַרְשָׁנָה דָּם מְלֵאָה לַיהוָה חֶרֶב 6
 主のつぎは血で満ち、脂肪で肥え、小羊とやぎの血、雄羊の腎臓の脂肪で肥えている。主がボズラで犠牲の獣をほふり、エドムの地で大いに殺されたからである。

גָּדוֹל וְטָבַח בְּבֹזְרָה לַיהוָה זָבַח כִּי אֵילִים כְּלֵיזָה מִחֶלֶב
 大きな 主のつぎは 大虐殺が ボズラで 主に いけにえが なぜなら 雄羊の 腎臓の 雄羊の-脂肪で
 H2874 H1224 H3068 H2077 H3629 H2459
 אֲדוֹם: כְּאֶרֶץ
 エドムの エドムの-地で
 H0123 H0776

主のつぎは血で満ち、脂肪で肥え、小羊とやぎの血、雄羊の腎臓の脂肪で肥えている。主がボズラで犠牲の獣をほふり、エドムの地で大いに殺されたからである。

וְרוּתָהּ וְאֲבִירִים עִם-וּפְרִים עִמָּם רְאֵמִים וַיִּרְדּוּ 7
 主のつぎは 強い-牛と ~と-共に 若い-牛が 彼らと-共に 野牛が 主のつぎは 倒れる
 H7301 H0047 H6499 H3214 H3381

וְרָשָׁן: מִחֶלֶב וְעַפְרָם מִדָּם אֲרָצָם
 滞る 脂肪で そして-その-土は 血で その-地は
 H1878 H2459 H6083 H1818 H0776

野牛は彼らと共にほふり場にくだり、子牛は力ある雄牛と共にくだる。その国は血で酔い、その土は脂肪で肥やされる。

צִיּוֹן: לְרִיב שְׁלוּמִים שָׁנָה לַיהוָה נָקָם יוֹם כִּי 8
 シオンの ~の-ための 報復の 年である 主の 復讐の 復讐の-日である なぜなら
 H6726 H7379 H7966 H8141 H3068 H5359 H3117

主はあだをかえす日をもち、シオンの訴えのために報いられる年をもたれるからである。

אֲרָצָהּ וְהִיתָה לְנִפְרִית וְעַפְרָה לְזֹפֶת נַחְלֵיהָ וְנִהְפְּכוּ 9
 その-地は 主のつぎは-なる 硫黄に そして-その-土は 濁青に その-川は 主のつぎは-変わる
 H0776 H1961 H1614 H6083 H2203 H2015

בְּעֵרָה: לְזֹפֶת
 燃える 濁青と
 H2203

エドムのもろもろの川は変って樹脂となり、その土は変って硫黄となり、その地は変って燃える樹脂となって、

תִּחְרָב לְדוֹר מְדוֹר עֲשָׂנָה יַעֲלֶה לְעוֹלָם תִּכְבֶּה לֹא וַיּוֹמֵם לַיְלָה 10
 荒れる 代へと 代から その-煙は 立ち-上る 永遠に 消えない 消えない そして-昼も 夜も
 H1755 H1755 H6227 H5927 H5769 H3518 H3808 H3119 H3915

לְנִצָּחַן נִצְחִים אֵין עֹבֵר כָּהֵן
 永久に 永久に いない 永遠に 永久に そこを 通る-者は
 H0369 H5331 H5331

夜も昼も消えず、その煙は、とこしえに立ちのぼる。これは世々荒れすたれて、とこしえまでもそこを通る者はない。

יִשְׁכְּנוּ-וְעָרַב וַיִּנְשָׂף וְקָפוֹד קָאֵת וַיִּרְשׁוּהָ 11
 住む 主のつぎは-からすが 主のつぎは-ふくろうと 主のつぎは-はりねずみと ペリカンと 主のつぎは-受け-継ぐ
 H7931 H6158 H3244 H7090 H6893 H3423

בְּהוֹ: וְאַבְנֵי-תְהוֹ קוֹ-עָלֶיהָ וְנִטְהָ בָּהֶן
 空虚の 主のつぎは-おもりが 混沌の 測り-縄が その-上に 主のつぎは-張られる そこに
 H0922 H0068 H8414 H5186

たかと、やまあらしとがそこをすみかとし、ふくろうと、からすがそこに住む。主はその上に荒廃をきたらせる測りなわを張り、尊い人々の上に混乱を起す下げ振りをさげられる。

שָׂרִיף וְכָל- יִקְרְאוּ מְלוּכָה שָׁם וְאִי־ חַרְיָה 12
 その-宰相たちは そして-すべての 呼ぶべき 王国が そこには そして-いない その-貴族たちよ
[H8269](#) [H3605](#) [H7121](#) [H4410](#) [H8033](#) [H0369](#) [H2715](#)

אָפֶסֶת : יְהוּי
 無に なる
[H1961](#)

人々はこれを名づけて「国なき所」といい、その君たちは皆うせてなくなる。

וְהָיְתָה בְּמִבְצָרֶיהָ וְחָזַח קְמוּשׁ סִירִים אֲרָמְנֹתֶיהָ וְעָלְתָה 13
 そして-なる その-砦に そして-野ばらが あざみと いばらが その-宮殿に そして-生える
[H1961](#) [H4013](#) [H2336](#) [H7057](#) [H0759](#) [H5927](#)

יַעֲנֶה : לְבָנוֹת חֲצִיר תַּיִם נוּה
 だちょうの 娘たちの-ための 草地と ジャッカルの 住まいと
[H3284](#) [H1323](#) [H2681](#)

そのとりでの上には、いばらが生え、その城には、いらくさと、あざみとが生え、山犬のすみか、だちょうのおる所となる。

יִקְרָא רַעְהוּ עַל- וְשַׁעִיר אֲיִים אֶת- צִיִּים וּפְגָשׁוּ 14
 呼ぶ その-仲間に ~の-上で そして-雄山羊が 海の-獣と ~と 荒野の-獣が そして-出会う
[H7121](#) [H7453](#) [H0338](#) [H0853](#) [H6728](#) [H6298](#)

מְנוּחַ : לָהּ וּמִצָּאָה לִילִית הַרְגִיעָה שָׁם אֶד- אֶד-
 憩いの-場を 自分に そして-見つける リリトは 休む そこに ただそこに
[H4494](#) [H4672](#) [H3917](#) [H8033](#) [H0389](#)

野の獣はハイエナと出会い、鬼神はその友を呼び、夜の魔女もそこに降りてきて、休み所を得る。

בְּצִלָּהּ וּדְרָגָה וּבִקְעָה וְתַמְלִט קַפּוּז קִנְיָה שָׁמָּה 15
 その-影の-中で そして-抱く そして-卵を-かえし そして-産み 矢蛇が 巣を-作る そこに
[H6738](#) [H1716](#) [H1234](#) [H4422](#) [H7091](#) [H7077](#) [H8033](#)

רַעְיוֹתָהּ : אִשָּׁה דִּיּוֹת נִקְבְּצוּ שָׁם אֶד-
 その-仲間と それぞれ 鷄が 集まる そこに ただそこに
[H7468](#) [H0802](#) [H1772](#) [H6908](#) [H8033](#) [H0389](#)

ふくろうはそこに巣をつくって卵を産み、それをかえして、そのひなを翼の陰に集める。とびもまた、おのおのその連れ合いと共に、そこに集まる。

לֹא מִהֵנָּה אֶת וְקָרְאוּ יְהוָה סֵפֶר מִעַל- דְּרָשׁוּ 16
 欠けていない それらの-中から 一つも そして-読め 主の 書物の ~の-中から 探せ
[H3808](#) [H2007](#) [H0259](#) [H7121](#) [H3068](#) [H1875](#)

צִוָּה הוּא פִּי כִּי- פָּקְדוֹ לֹא רַעְיוֹתָהּ אִשָּׁה נִעְדְּרָהּ
 命じた それが わたしの-口が なぜなら 欠かない 欠かない その-仲間を それぞれ 欠けていない
[H6680](#) [H1931](#) [H6310](#) [H3808](#) [H7468](#) [H0802](#)

קִבְּצוּ : הוּא וְרוּחַ
 集めた それが そして-その-霊が
[H6908](#) [H1931](#) [H7307](#)

あなたがたは主の書をつまびらかにたずねて、これを読み。これらのものは一つも欠けることなく、また一つもその連れ合いを欠くものはない。これは主の口がこれを命じ、その霊が彼らを集められたからである。

לָהֶם	הִלְקֵתָהּ	וַיְדֹ	גּוֹרֵל	לָהֶן	הִפִּיל	וַהוּא־	
それらに	分けた	そして-その-手が	くじを	それらの-ために	投げた	そして-その-方が	
H1992		H3027	H1486	H1992	H5307	H1931	
ס	בָּהּ:	יִשְׁכְּנוּ־	וַדֹּר	לְדֹר	וַיִּרְשׁוּהָ	עוֹלָם	עַד־
—	そこに	住む	そして-代へと	代から	受け-継ぐ	永遠に	永遠に
		H7931	H1755	H1755	H3423	H5769	H5704
						測り-縄で	

主は彼らのためにくじを引き、手ずから測りなわをもって、この地を分け与え、長く彼らに所有させ、世々ここに住まわせられる。